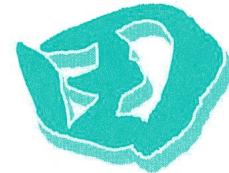


No. 3130

2025-2026年度

会長 木本 隆昭
 幹事 児嶋 正人
 クラブ広報小委員長 福田 一由



第2640地区
 毎週木曜日 12:30
 紀州有田商工会議所6F
 TEL 649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



よいことの
ために
手を取りあおう

本日のプログラム

令和7年10月23日 第3131回

- ・前期IDM発表
- ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第3130回例会）

開催日 令和7年10月2日(木)

点鐘 [木本会長]

今月の誕生日祝

〔親睦活動小委員会 酒井委員長〕

会員誕生:川口健太郎君(10/28)、成川守彦君(10/30)

配偶者誕生:児嶋純子さん(10/8)



10月お誕生日
(左) 成川 守彦君

おめでとう
ございます！

ニコニコ箱の報告

〔福田副SAA〕

木本君:任泰然君、博士課程学位の授与おめでとうございます。酒井君、本日の卓話宜しくお願い致します。

福原君:本日は会員卓話です。酒井雄亮君よろしくお願いします。

成川(守)君:酒井君、イニシエーションスピーチご苦労さまです。

石垣君:酒井雄亮君、本日の卓話楽しみにしています。

岩橋君:酒井雄亮君、卓話楽しみです。

上野山(捷)君:酒井雄亮様、本日の卓話楽しみにしています。

橋爪(正)君:酒井雄亮君、卓話楽しみです。月見例会では送迎して頂きましてありがとうございました。

中村君:酒井雄亮君、本日の卓話宜しくお願いします。

橋爪(誠)君:酒井さん、今日の卓話デビューおめでとうございます。はりきってどうぞ！

2025-2026年度クラブ方針

「例会に出席しよう
みんなに会おう」



次回のお知らせ

令和7年10月30日 第3132回

- ・外部卓話:妻木 良三 氏(画家)

- ・ソング:「我等の生業」

井上君:酒井君、本日の卓話よろしくお願ひします。
 北畠君:本日卓話、酒井雄亮君、よろしくお願ひします。
 嶋田君:酒井さん、卓話よろしくお願ひします。勉強させて頂きます。

酒井君:本日卓話よろしくお願ひします。
 福田君:酒井雄亮様、本日の会員卓話よろしくお願ひ致します。

出席報告

〔クラブ管理運営委員会 橋爪(誠)委員長〕

本日の出席者15名／24名
 (うち出席規定免除者6名／7名)

会長の時間

〔木本会長〕

皆様、こんにちは。
 秋高し季節となり、朝晩はだいぶん涼しくなりました。10月はRIの「経済と地域社会の発展月間」そして日本の「米山月間」です。



米山奨学生と言えば、2019年4月の上野山栄作年度から2020年3月の橋本年度にかけて、有田RCが世話クラブを務めた任泰然君が、立命館大学の博士課程学位を授与されました。ここで改めて皆様にご報告させていただきます。写真を回覧しています。ご覧ください。

本日は、10月の重点目標である「経済と地域社会の発展」についてお話しします。RIでの地域社会はインターナショナルでありて廣く、ここでは日本の地域社会の発展についてお話しします。地域社会の発展とは、単に経済的な成長を指すのではなく、住民一人一人が豊かで安心して生活できる地域社会を築き、維持していくための多角的な取り組みを意味します。経済・社会・文化・環境など、さまざまな側面から地域全体の活力と持続可能性

を高めていく総合的な概念です。

発展の実現には、経済的な側面に加えて、以下のような要素が不可欠とされます。

- ・経済の活性化：地域に根差した産業の振興や新規事業の創出、地元資源を活用した特産品の開発などにより、経済活動を活性化させます。魅力的な雇用機会を生み出すことは、若者の定住促進にもつながります。
- ・コミュニティの強化：住民が互いに支え合い、交流できる強固なコミュニティを形成することは、犯罪の抑制や災害時の助け合いに不可欠です。町内会やNPO、ボランティア団体の活動がその基盤となります。
- ・暮らしの満足度向上：住民が「この地域に住みたい」と思えるような、生活の利便性や安全性を高めることも重要な要素です。高齢者や子供が安心して暮らせるような見守り体制の構築などが含まれます。
- ・文化・歴史の継承と活用：地域固有の歴史、文化、伝統、自然環境といった資源を再評価し、観光振興やまちづくりにいかすことで、地域の魅力を高めます、これが住民の地域への誇りや愛着を育むことにもつながります。
- ・持続可能性の追求：人口減少や少子高齢化といった社会課題に対応し、将来にわたって地域が存続していくための仕組みを構築します。財政、人口、インフラなど多角的な視点から、地域の「持続可能性」を追求します。

地域社会の発展における課題としては、以下のようなものが挙げられます。

- ・人口減少と少子高齢化
- ・都市への一極集中と地方の過疎化
- ・地域を支える人材の不足
- ・住民の地域活動への関心の低下
- ・地域のつながりの希薄化

これらの課題を乗り越え、地域社会の発展を推進するため、さまざまな取り組みが行われています。

- ・官民連携：行政、企業、住民が一体となって、それぞれの強みを生かしたまちづくりを推進します。
- ・地域資源の活用：地元の伝統産業と人気アニメを組み合わせた商品開発など、ユニークな視点で地域資源を生かします。
- ・イベントの活用：祭りなどの地域イベントを通じて、住民の誇りを醸成し、交流人口の増加につなげます。
- ・人材育成：次世代の地域を担う人材を育成し、コミュニティの活力を維持します。

我々ロータリークラブは、以上のような地域社会の発展に貢献するため、5大奉仕活動を積極的に行っていく必要があると思います。

幹事報告

[福原副幹事]

- 1.第43回紀文まつり協賛の御礼と今後についての御礼文が届いています。回覧
- 2.RotaryからコーディネーターNEWS、8月号・10月号が届いています。また、地域社会の経済発展月間リソースの案内が届いています。回覧
- 3.田辺東RCから週報が届いています。



回覧

- 4.公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より豆辞書が届いています。
- 5.Rotary誌が届いています。
- 6.例会変更案内 後方掲示
- 7.第4回定期理事会が例会終了後開催されます。理事の方は出席宜しくお願ひ致します。

委員会報告

※奉仕プロジェクト委員会[井上委員長]
前期IDMについて

卓 話



会員
酒井 雄亮 君

1.会社案内

顧客満足を追い求め喜んでいただきたい。その思いが会社の根本にあります。そのためには良く仕事をするのはもちろんですが、やはりお客様に喜んでもらうために、金額面とスピード面も対応しようと考ております。よくお客様から、修理の問い合わせがあった時、「慌ててないよ。」と言っていたことがあります。そのまま職人に空いてる時で良いのでまた修理にまわって、とストレートに伝えると1ヶ月たっても2ヶ月たっても来ない、施主さんから「どうなってるの？」との問い合わせがあります。お客様としては弊社に修理を言うまでに数日悩み、相手も忙しいだろうからと気を使って何時でもいいと言ってくれる。依頼する迄にも時間が結構かかっている事が多い。だから保田組としては、いつでもかわんよと言われた時は、早くしてくれと脳内変換して対応するように心がけています。

私自身2年前に社長になり、過去から受け継いだ会社理念と共に自分自身の社訓を今後作っていきたいと思います。

事業内容としてはスーパーマーケットやドラッグストアなどの商業店舗を中心に、小学校や官公庁、公園などの公共施設、戸建住宅等の建築事業と新規道路の整備や既存道路のメンテナンス、橋梁などの改修に加え、公園の整備といった公共工事といった土木事業を行っています。

保田組は現場監督を抱えている会社です。実際どんなことを行うのかというと、測量業務、図面作成。最近だと土木の現場ではドローンを使って測量したりします。

土木工事は新しい技術が進んでおり、今まで体を使っていた作業が機械やパソコンを使用しての作業に変わってくる時期だと思います。

これだけは伝えたいのは、現場監督というのは現場の初めから終わりまでかかるので一番責任のある仕事です。現場監督の醍醐味は、「あそこにあるエバグリーンは

俺が建てた。」と知り合いに一番自慢できるし、やりがいがある仕事だと思います。

2.建設業の防災に対する取り組み

災害といえば、台風、地震、津波、洪水と色々なものがありますが、災害発生時 建設会社は何を行っているでしょうか？

道が崩れたり、家が傾いたり、川が氾濫して水没した時、重機でがれきや樹木をよけたり、土嚢を積んで水が入ってこないよう行っているのが建設業者です。建設業者がいち早く道を復旧することで、救援物資や人材が被災地に行けるようになるので、率先して道や川を復旧させないといけません。

では、災害が起きた時、どこの建設業者が災害対策を行うと思いますか？

各々が勝手にやっていると收拾がつかないので役割分担が必要です。会社がまとまって建設業協会というものに所属しています。この建設業協会が和歌山県や有田市といった自治体と普段から災害協定を結ぶことで、災害時、自治体から建設業協会に要請があり、協会から各会社に応援依頼が行きます。どの会社が実際に復旧に行くかは事前に地域別に割り振っています。

自分の街に、地元の地形を知った建設業者がいることは本当に大切な事です。スピード感をもった対応を行うために建設業は無くてはならないと言われるのはこういうところにあります。

また、遠くで発生した災害にも救援に行きます。おととしうこった能登半島の地震の災害復旧にも全国各地から応援に行きました。建設業協会から依頼があり、1週間水管の復旧作業に有田市の業者が数社行きました。地震から半年以上たった時期でしたが、復旧場所は石川県の上の方でまだ水道が全然繋がっていません。宿泊場所も石川県ではなく隣の富山県に毎日泊まり、作業現場には片道3時間かかり、水と食事が無いので食べ物は朝出発する時持つて行ってくださいという過酷な現場みたいです。災害の範囲と被害が酷い時の助け合いも建設業者間で行います。災害時には建設業はとても大切な業種であると思っておいてください。

3.保田組の災害発生時の独自の取り組み

弊社はBCPを策定しています。災害に遭ったときに備えて普段から色々考えておくことで、災害における会社の被害を最小限に抑えて会社が倒産せずに運用できます。

BCPで考えることは、先ずは人命を優先する事が一番大事です。ただし働いている会社が潰れてしまっては、時間がたつにつれ、お金が入ってこず働いている人が生活できなくなるので、会社も健全に続くことは同じくらい大事な事です。災害発生時10人いた場合、9人は人命最優先の中1人は会社の存続について動く人を割り当てておくというような考えです。

①災害リスクの確認

地震や水害といった被害想定が自分の住んでるところでどんなものかを調べておきます。弊社では有田市の本社と和歌山市の営業所が同時に災害に合わないのでど

ちらかが被災した場合は被災していない場所を活動の拠点として動きます。

②役割分担・連絡体制

連絡表はよくありますが、ここで大事なのは誰が何をするかを明確に決めておく必要があります。弊社では総務班は各社員と家族の安否情報の収集をし、業務班はお客様や、役所、建設業会との連絡と情報収集、対外班は実際の復旧作業の段取りと実施をします。こういった行動を訓練することで基本的に指示無しでも動けるように行います。

③災害からの時間とともにシミュレーション

発生時24時間でする事、2日間でする事、1週間でする事を決めておく事が大事です。特に24時間でする事を決めておくことが大事です。

もちろん大前提として協力業者や施工担当者、役所担当者の連絡先は皆で共有していることが大事です。

最後に防災で大切なのは、事前の準備、定期的な確認と訓練が大事です。それから建設業が無くてはならないものだということです。

閉会・点鐘

[木本会長]



2025年度

秋季立命館大学卒業式
立命館大学院博士学位授与式

任泰然君は米山記念奨学生として、2019年4月～2021年3月まで当クラブが世話クラブとして支援して参りました。現在は米山学友として在籍すると共に、この度立命館大学院博士学位を取得されました。

9月27日の式典では学位取得者代表挨拶を素晴らしい行いました。この度はおめでとうございます。

川口健太郎

